

授業科目	*助産診断・ケア学V(周産期のハイリスク)					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	前田 幸、古賀 玉緒、吉村 宜純、高島 健						
授業概要	<p>臨床推論の視点から正常経過から逸脱したハイリスク妊娠・分娩・産褥各期の異常および検査・治療とケアに必要な知識・技術を学修する。また周産期に活用する医療機器の操作や検査・処置、データ判読について学ぶ。緊急時の対応と必要な助産技術・ケアについて演習をとおして習得する。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床で医師・助産師としての実務経験を有する教員が教授する。</p>						

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 周産期（妊娠・分娩・産褥）正常からの逸脱状態および疾患、臨床推論について説明できる。(DP1-1)
	2. 周産期（妊娠・分娩・産褥）正常からの逸脱状態および疾患について根拠に基づき説明できる。(DP2-1)
	3. 周産期（妊娠・分娩・産褥）正常からの逸脱状態および疾患をもつ対象者のケアにを説明できる。(DP2-2)
	4. 周産期（妊娠・分娩・産褥）正常からの逸脱状態および疾患をもつ対象者の課題に主体的に取り組む意欲をもっている。(DP3-1)
	5. 倫理観をもち、周産期（妊娠・分娩・産褥）正常からの逸脱状態および疾患をもつ対象のケアを安全・安楽に実施できるよう説明できる。(DP2-2、3-2)
	6. 周産期（妊娠・分娩・産褥）正常からの逸脱状態および疾患をもつ対象のケアに関して多職種との連携について説明できる。(DP3-3)
理想的レベル	標準レベル1～4を達成したうえで、対象の状態や個別性に合わせたケアについて説明することができる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	
小テスト	0	
レポート	10%	レポートに関しては講義の中で提示します。
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	発表への取り組みについて評価します。
レポート外の提出物	0	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	MI21205J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
予習：テーマ・講義内容に関しテキストや配布資料を読んでおく。 復習：該当部分をまとめる。								1	

授業計画	
第1回	テーマ：妊娠期の異常①（吉村宜純） ・ハイリスク妊娠（内科合併症妊娠、母児感染症）について解説する。
第2回	テーマ：妊娠期の異常②（吉村宜純） ・ハイリスク妊娠（妊娠高血圧症候群、胎児発育不全）について解説する。
第3回	テーマ：妊娠期の異常③（吉村宜純） ・ハイリスク妊娠（前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離）について解説する。
第4回	テーマ：妊娠期の異常④（吉村宜純） ・ハイリスク妊娠（切迫早産、前期破水、羊水の異常、過期産、血液型不適合妊娠）について解説する。
第5回	テーマ：分娩期の異常①（高島健） ・分娩の3要素の異常（産道、娩出力、胎児、胎児付属物、胎児に起因する難産、遷延分娩など）について解説する。
第6回	テーマ：分娩期の異常②（高島健） ・分娩に伴う偶発疾患、合併症（軟産道損傷、弛緩出血、産科ショック、合併症 他） ・無痛分娩 について解説する。
第7回	テーマ：分娩期の異常③（高島健） ・緊急時の対応、早産、過期産について解説する。
第8回	テーマ：産褥期の異常①（高島健） ・産褥期におこる身体的・精神的な問題について解説する。
第9回	テーマ：産褥期の異常②（高島健） ・産褥期におこる身体的・精神的な問題について解説する。
第10回	テーマ：分娩期・産褥期の検査（高島健） ・周産期で活用する検査データ、超音波検査、ME 医療機器の判読について解説する。 (CTG 判読を中心に)
第11回	テーマ：地域における周産期システム（高島健） ・北九州市における周産期医療システムについて解説する。
第12回	テーマ：分娩期の異常④（高島健） ・分娩に伴う損傷・産科手術について解説する。
第13回	テーマ：分娩期の異常⑤（高島健） 演習① 会陰縫合 ・会陰裂傷縫合術：模型を使用し、実際に縫合技術を学ぶ。
第14回	テーマ：妊婦・産婦・褥婦の異常時の観察・ケア①（前田幸） ・ハイリスク妊娠産褥婦の観察・ケア（心理的ケアも含む）について解説する。
第15回	テーマ：妊婦・産婦・褥婦の異常時の観察・ケア②（古賀玉緒） ・ハイリスク妊娠産褥婦の観察・ケア（心理的ケアも含む）について実践する。
テキスト	助産学講座 6・7 助産診断・技術学 2 [1] 妊娠期 [2] 分娩・産褥期 我部山キヨ子他編 医学書院

病気がみえる vol.10 産科 第4版 MEDIC MEDIA  
 科学的根拠にもとづく快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン  
 厚生労働科学研究妊娠出産ガイドライン研究班  
 金原出版株式会社  
 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊娠褥婦・新生児へのケア  
 責任編集 小林康江 日本看護協会出版社  
 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023 発行 日本産婦人科学会  
 編集・監修：日本産婦人科学会/日本産婦人科医会

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて資料を配布します。
課題に対するフィードバックの方法	レポートに関するフィードバックは、クラスルームなどで行います。 質問などについては授業中に対応します。
学生へのメッセージ・コメント	他の授業を踏まえ、正常な妊・産・褥婦の身体的・精神的特性について把握しておきましょう。  他の授業科目と関連づけて学習し、臨地実習で実践を通して確認するようにしましょう。 講師と積極的に意見交換して下さい。

